

5-1. 津波ハザードマップ

津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐに避難

津波ハザードマップについて
このマップは、大阪府が平成25年8月に発表した津波浸水想定に基づいています。想定された津波は、1,000年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのもので、津波は自然現象であり、さらに浸水域が広がる可能性があります。

津波避難対象地域・津波注意地域
津波避難対象地域 津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに避難を開始してください。
津波注意地域 大津波警報が発表されたときは、直ちに避難ができる準備をしてください。

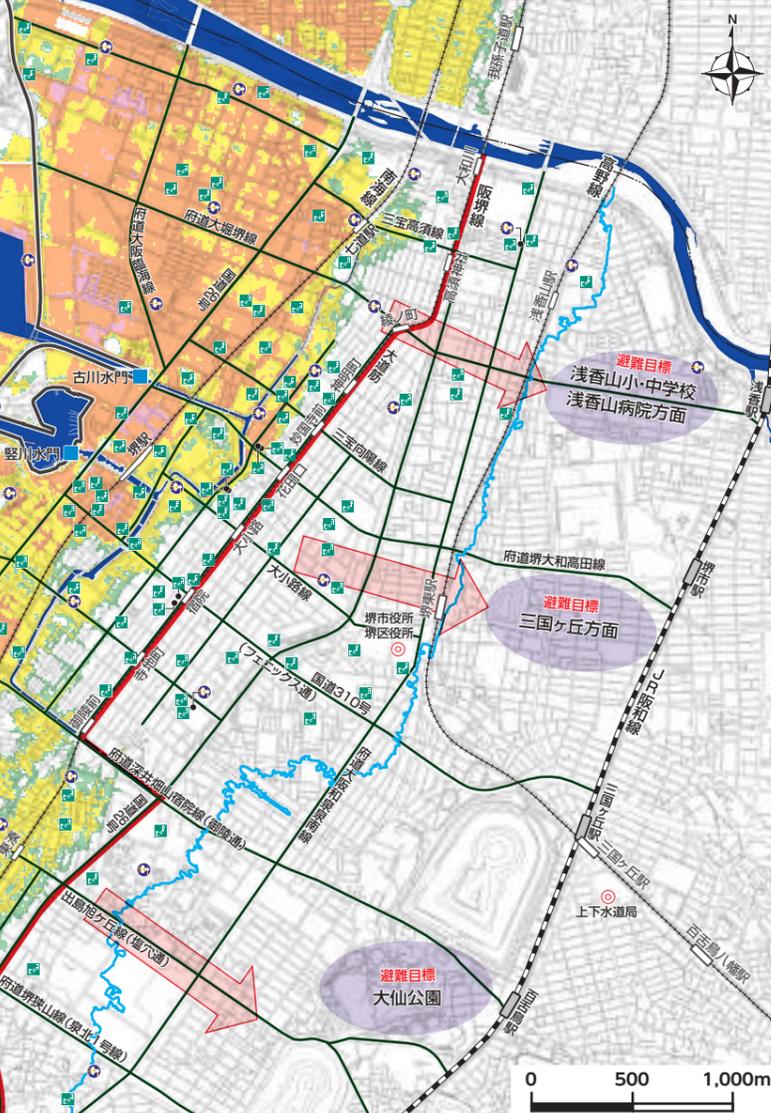


- 凡例**
- 津波避難ビル※
 - 避難路
 - 避難目標
 - 避難方向
 - 市役所・区役所等
 - 想定される浸水の深さ
 - 防潮ライン
 - 水門
 - 屋外スピーカー※
 - 津波避難対象ライン
 - 津波注意ライン(標高6.8m)

想定される浸水の深さ
2.0m~3.0m 未満
1.0m~2.0m 未満
0.3m~1.0m 未満
0.01m~0.3m 未満

※令和4年1月末時点。津波避難ビルの最新情報はホームページをご覧ください。
<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/kojo/tsunami/>

地震発生後、津波が到達するまでの約100分間に
● JR阪和線を目標に、東の高い所へ徒歩で避難しましょう。
● 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。



想定される浸水の深さと被害イメージ

- 2.0m~3.0m 未満 津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなる。
- 1.0m~2.0m 未満 避難行動がとれなくなる(人命に影響が及ぶおそれがある)
- 0.3m~1.0m 未満 大人が膝まで浸かる深さ(思うように歩くことができない)
- 0.01m~0.3m 未満 大人が膝まで浸かる深さ(思うように歩くことができない)

参考：津波避難対策推進マニュアル検討会報告書(消防庁)平成25年3月

5-2. 高潮ハザードマップ

~最大級の台風が来ると高潮でこんなに広範囲に浸水する可能性が~早めに高潮浸水想定区域外へ避難しましょう!

- 凡例**
- 避難所(風水害・地震)
 - 屋外スピーカー
 - 市役所・区役所等
 - 避難方向
 - 想定される浸水の深さ
 - 防潮ライン
 - 水門
 - 主要道路
 - 5m~10m 未満
 - 3m~5m 未満
 - 0.5m~3m 未満
 - 0.5m 未満

- 想定される最大の台風**
上陸時の中心気圧は910hPa
移動速度：73km/h
(参考：関西空港などに大被害をもたらした平成30年台風21号の徳島県上陸時の中心気圧は950hPa)
- 最も大きな高潮を発生させる経路**
大阪湾の西側
20km~60kmを通過
- 満潮について**
大潮の時期の満潮を想定
大潮：潮位差が大きくなる現象(新月満月の前後数日)
満潮：海水面が高くなる現象(通常1日2回)

想定される浸水の深さと被害イメージ

- 3~4階 5m~10m 未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
- 2階 3m~5m 未満 (2階床上浸水~2階軒下浸水)
- 1階 0.5m~3m 未満 (1階床上浸水~1階軒下浸水)
- 1階床下 0.5m 未満 (1階床下浸水)

高潮ハザードマップについて
このマップは、大阪府が令和2年8月に発表した高潮浸水想定に基づいています。①想定される最大の台風が、②最も大きな高潮を発生させる経路で、③満潮のときに上陸した場合を想定したものです。高潮は自然現象であり、さらに浸水域が広がる可能性があります。

